

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年3月5日(2025.3.5)

【公開番号】特開2025-11265(P2025-11265A)

【公開日】令和7年1月23日(2025.1.23)

【年通号数】公開公報(特許)2025-013

【出願番号】特願2024-180714(P2024-180714)

【国際特許分類】

C 0 7 K 1 6 / 2 8 (2 0 0 6 . 0 1)

10

C 0 7 K 1 4 / 6 0 5 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 7 K 1 9 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 K 3 9 / 3 9 5 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 K 4 7 / 6 8 (2 0 1 7 . 0 1)

A 6 1 P 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 3 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 3 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 1 / 1 6 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 9 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 1 3 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

20

【 F I 】

C 0 7 K 1 6 / 2 8

C 0 7 K 1 4 / 6 0 5 Z N A

C 0 7 K 1 9 / 0 0

A 6 1 K 3 9 / 3 9 5 N

A 6 1 K 4 7 / 6 8

A 6 1 P 3 / 0 0

A 6 1 P 3 / 1 0

A 6 1 P 3 / 0 4

A 6 1 P 1 / 1 6

A 6 1 P 9 / 0 0

A 6 1 P 1 3 / 1 2

C 0 7 K 1 4 / 6 0 5

C 0 7 K 1 6 / 2 8 Z N A

30

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月25日(2025.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒト胃抑制ペプチド受容体(GIPR)のN末端細胞外ドメインに特異的に結合するインタクトなヒトIgG抗体又はヒト化IgG抗体と、グルカゴン様ポリペプチド-1(GLP-1)受容体アゴニストとを含む、ヒト対象における体重を減少させるための組成物であって、前記GLP-1受容体アゴニストは、前記抗体の1つ以上のコンジュゲーション部位でシステインを介して前記抗体にコンジュゲートされている、組成物。

【請求項2】

50

非経口投与用である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

皮下投与用である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

ヒト胃抑制ペプチド受容体 (GIPR) の N 末端細胞外ドメインに特異的に結合するインタクトなヒト IgG 抗体又はヒト化 IgG 抗体と、グルカゴン様ポリペプチド - 1 (GLP - 1) 受容体アゴニストとを含む、ヒト対象における 2 型糖尿病の治療のための医薬組成物であって、前記 GLP - 1 受容体アゴニストは、前記抗体の 1 つ以上のコンジュゲーション部位でシステインを介して前記抗体にコンジュゲートされている、医薬組成物。

【請求項 5】

非経口投与用である、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

皮下投与用である、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

ヒト胃抑制ペプチド受容体 (GIPR) の N 末端細胞外ドメインに特異的に結合するインタクトなヒト IgG 抗体又はヒト化 IgG 抗体と、グルカゴン様ポリペプチド - 1 (GLP - 1) 受容体アゴニストとを含む、ヒト対象における体重増加を減少させるための組成物であって、前記 GLP - 1 受容体アゴニストは、前記抗体の 1 つ以上のコンジュゲーション部位でシステインを介して前記抗体にコンジュゲートされている、組成物。

【請求項 8】

非経口投与用である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

皮下投与用である、請求項 7 に記載の組成物。

10

20

30

40

50